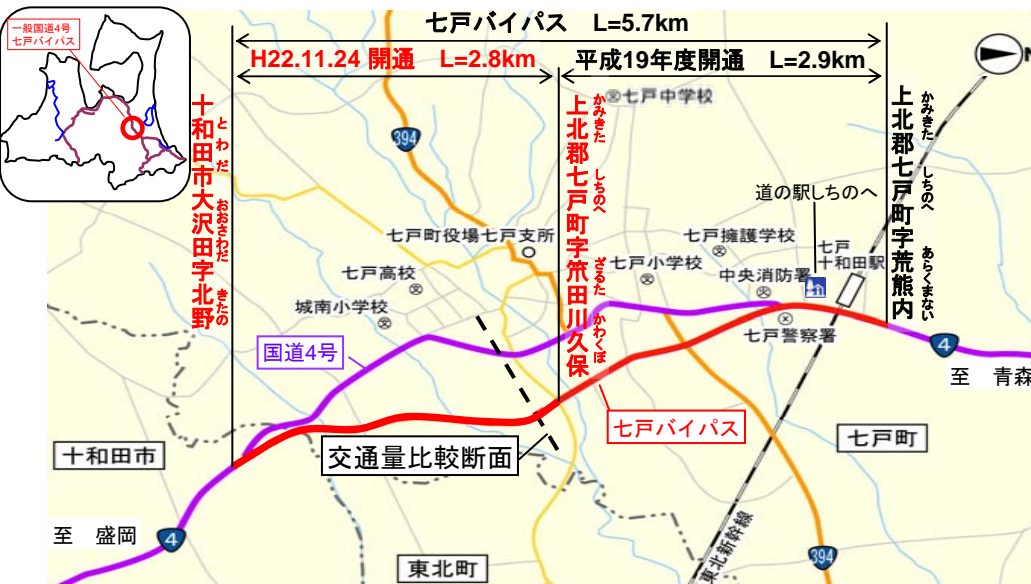


【開通1年後】一般国道4号

七戸バイパスが開通して

(平成22年11月24日開通)

- ①道路利用者は**安全性や利便性を実感**
- ②国道4号の交通の**7割以上がバイパスに転換**



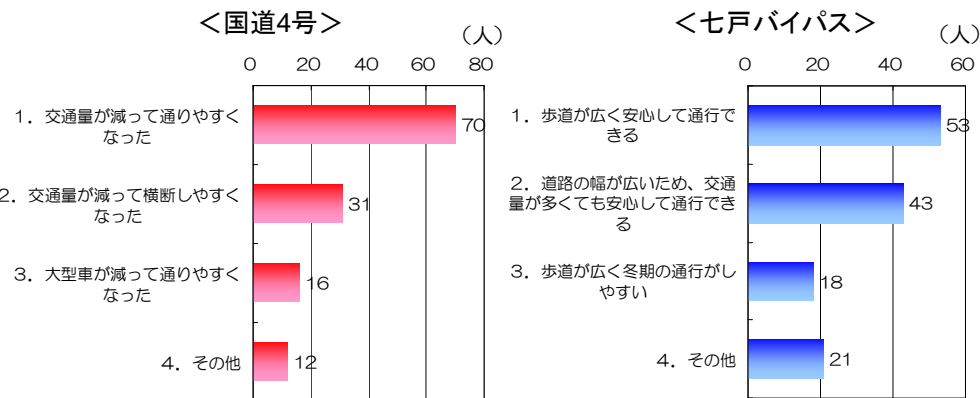
平成22年12月4日の東北新幹線開業に先立ち、平成22年11月24日に七戸バイパスが全線開通しました。



●七戸中学校へのアンケート調査結果

通学・通勤時の通行・横断における安全性向上効果を実感しています

■質問 七戸バイパスの開通後の利用実感について



(有効回答者数：119人)

(有効回答者数：112人)

アンケート自由意見

【冬期の効果】

・冬期通勤する際、国道4号は急な坂やカーブでのスリップ等が怖かったが、バイパスは**安心感があり、ゆとりをもって通勤できます**。(先生の意見)

【その他】

- ・道路の幅が広がって、周りが見やすくなり事故の危険性が減りました。
- ・国道4号をトラックがほとんど走らなくなったので、静かになりました。

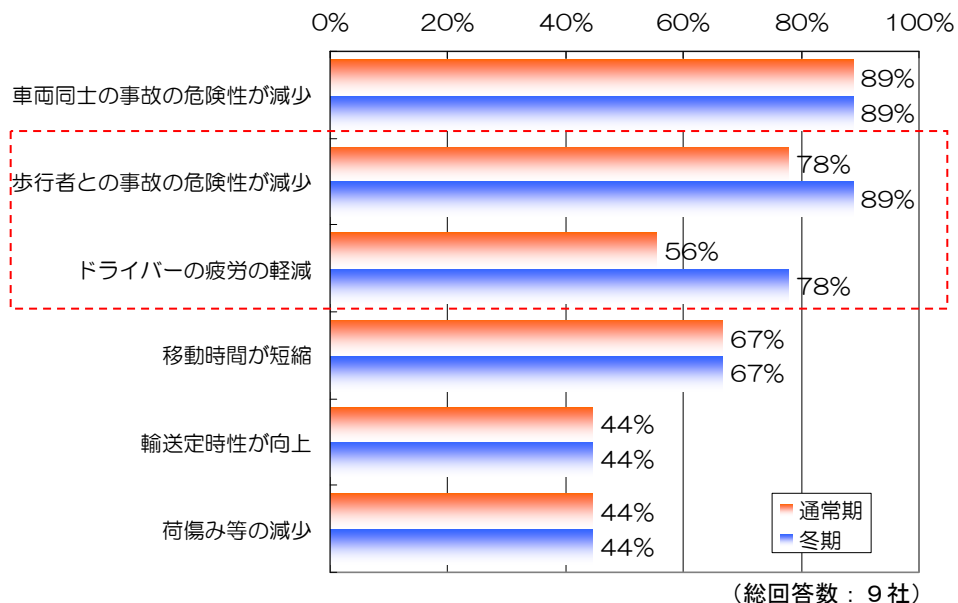
一般国道4号七戸バイパスの概要

- ・事業期間：平成元年～平成22年度
- ・総事業費：約77億円
- ・延長：5.7km(うち2.9kmは平成19年度に開通)
- ・幅員：14.5m

● 運送業・製造業事業者へのアンケート調査結果

冬期の安全性の向上効果等を実感

■ 質問 七戸バイパスの開通による輸送実態の変化について



：冬期の効果が特に実感されている項目

アンケート自由意見

【冬期の効果】

・冬期では通常期に比べて、**ドライバーの負荷軽減、歩行者との事故危険性の低減効果**などを、大きく感じています。

【その他】

- ・勾配が少なくなり、走行しやすくなりました。(運送業者・おいらせ町)
- ・混雑しなくなりました。(運送業者・五戸町)
- ・走りやすい道路のため、所要時間が短縮しました。(運送業者・青森市ほか)

● バス事業者へのヒアリング調査結果

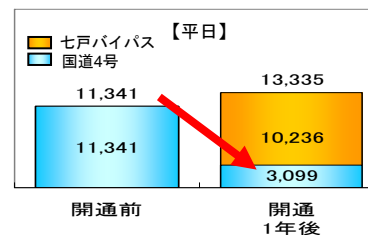
バス運行における定時性の向上などに貢献

バス事業者からの意見

- ・**冬期の走行性の良さ**等の理由から、七戸十和田駅発着の高速バスは、七戸バイパスを利用しています。
- ・バイパスへの交通量の転換により、現道を運行している**路線バスの定時性が向上し、事故の危険性も低減**しました。
- ・新幹線七戸十和田駅の開業に伴い、高速バス(八戸～東京線)を**七戸十和田駅まで延伸**し、運行ルートとして**冬期安全性の高さや走行性の高さ**等の理由から**七戸バイパスを利用**しています。

● 交通状況について

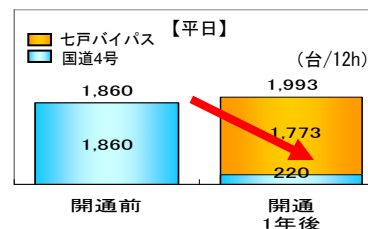
【開通前後の交通量（全車）】



国道4号から約7割以上がバイパスに転換

アンケート結果でも、「混雑しなくなった」「バスの定時性が向上した」との意見があった。

【開通前後の交通量（大型車）】



国道4号の大型車が約9割減少

アンケート結果でも、「トラックが少なくなり静かになった」との意見があった。

※開通前 (平日：H22.11.10)
開通1年後 (平日：H23.11.9)